



広報

つがる

2005
3.1
No. 2

●市の人口と世帯数（平成17年2月25日現在）・人口 40,410人（男 19,444人・女 20,966人）・世帯数 13,106世帯



寒さにも負けず、太公望が繰り出す

牛潟大溜池では、ワカサギ釣りをする太公望が連日繰り出しています。

この日は、日中でも気温が氷点下3度にもかかわらず、市外から多くの人が訪れワカサギ釣りを楽しんでいました。牛潟大溜池の氷の厚さは30cm程度、穴を開ける場所によって釣果に差が出していました。

【主な内容】

- 農業委員会総会・高規格救急自動車 2
- ・第50回船魂祭 2
- おしらせ 3・4



会長に選任された
野呂勝弘委員

農業委員会会長に野呂勝弘委員を選任

2月24日、松の館において、第1回農業委員会総会（組織会）が行われ、会長に野呂勝弘委員、会長職務代理者に中野専之丞委員が選任されました。

農業委員の任期は合併特例法の規定の在任特例を適用し、一年間の任期となります。

○つがる市農業委員会（六十八名）

二月二十三日、つがる市消防本部に高規格救急自動車が社団法人日本損害保険協会より寄贈されました。同協会では、自動車事故の救済支援として行っており、全国に寄贈された台数は延べ百六十三台で、県内では四台目となります。



テープカットする、五十嵐事務局長 古坂革市長職務執行者 成田清繁市議会議長



大漁を祈願する新岡組合長と関係者

第五十回 船魂祭

大漁祈願と海上安全を祈る

高規格救急自動車とは
傷病者の救命向上を図るため、一般の救急車より高度な救急医療設備を装備した救急自動車。

受納式では、同協会東北支部事務局長五十嵐朗氏より古坂英市長職務執行者に日録が手渡されました。市長職務執行者は「高規格救急自動車は市民の安全の大変効果を發揮し

高規格救急自動車を車力分署に配備

今年で創立五十年となつた出来島漁業生産組合（組合長 新岡義吉）は、船魂祭りを二月十九日に行いました。

これは、組合員の海上での安全と大漁を祈願するために、組合創立時から毎年行われているものです。

組合員たちは大漁旗とお神酒を手に、神社を参拝。その後、出来島老人憩の家に設けた祭壇で神事を行い、今年の大漁と海上安全を祈りました。

